

健康なまちに なるために！

来海 恵子 議員



来海 8月16日の養生園保険組合議会一般質問を健康づくり推進課の課長に傍聴していただいていたから3ヶ月が経ちますが、担当課はどのように動いたのかを伺います。

健康福祉部長 菊池市がいきいき養生塾を実施しているが合志市でもできないかという質問でしたが、市長から養生園を最大限に活用したいと答弁がされています。これを受け、担当課では健康教育の一環として、来年度実施する方向で今進めているところです。

来海 時間のある人は近くで個別検診され、時間の無い人は養生園で一日で検診ができるようにしたら受診率があがるのでは。

健康福祉部長 来年度から養生園だけでなく、特定検診の実施を承諾された市内の医療機関でも受入ができるよう準備を進めています。後期高齢者の検診についても、同様に個別検診ができるように進めています。ご意見については、今後検討していきます。

来海 複合検診についても、検診の

方法はいろいろな選択肢があったいと思いたすので、前向きな検討をお願いいたします。検診率を上げるためには、自治会の総会や色々な会合などで検診の案内をさせていただくと効果が上がるのでは。

健康福祉部長 区長会や自治会へのお願いは、非常に有効な手段だと思います。来年度は特に検診率の低い第一小学校と南ヶ丘小学校をモデル地区ということで、公民館などを利用して説明会や意識の啓発をしていきたいと考えています。

来海 市民に医療費の負担は県下でも十位以内と高く検診率が低くて、循環器系の病気が多い実態を知らせ、健康は自分達で守らなければいけないと啓発すべきだと思えます。



笑顔が一番！

合志市エコ対策

尾方 洋直 議員

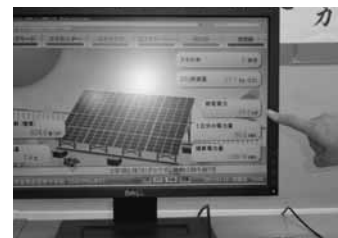


尾方 合志市小中学校10校に地球温暖化防止の啓発として太陽光発電システムを導入されたが成果について伺う。

教育部長 文科省推進のスクール二ユーティール構想に該当するというところで設置した。目的は温暖化防止の啓発と、環境教材として活用するためです。発電量は、10校合計で3万5655KWです。(1ヶ月間)

尾方 住宅用太陽光発電の補助制度について初年度の予定軒数、次年度予定は。

市民部長 当初80軒の予定でしたが21年度あたり九州電力との売電契約数で120軒の補正を行い、3ヶ年計画として年間200軒を予定800万円程度の予算計上を行ないたい。



太陽光発電量のモニター

尾方 平成24年度熊本市は政令指定都

尾方 平成26年度「区域マスタープラン」の見直しに、本市も早急な取り組みを行なう必要があります。

市長 エリアごとに具体土地利用方向性についてまちづくり戦略室で行ないます。将来市の自主財源を増すような誘導型の土地利用に対しては財政投資が必要であります。

尾方 合志、菊陽、益城、嘉島の、一市三町で市街化調整区域活性化連絡協議会を新しく立ち上げ都市計画のあり方というものを結論付けてまちづくりを進めていきます。

市に向け熊本都市計画の準備作業を行なうこととなりましたが、合志市の対応を伺う。

水道水の水質改善は いつまでに！

濱口 正暁 議員



濱口 9月議会で質した硝酸性窒素高濃度地区については命に係わることなので、早急な水質改善を。また、水質検査については平均値だけでなく月別データの公開を。

水道局長 検査データについては平均値をホームページには載せている。また、当面は低濃度の源水で希釈して対応し、中長期的には御代志配水池を拡張するための用地確保を行っており、平成23～24年度目標に建設工事を行い、早い時期に供給を開始したい。

市長 安心・安全というものは、市民の信用がなければ成り立たないもので、情報は全て開示するよう指導して行きたい。また、新しい配水池は用地確保に入っているので、確保次第、計画と工事に入りたいと考えている。

濱口 合志市は人口増もあっているのに、住みやすさランキング20位に相応しいインフラとして対応して欲しい。

市長マニフェストと予算用途は

濱口 教師力向上の為、先生へ研究費用を支援とある。学校単位で校長裁量にできたらとの要望があるが。

教育部長 数年の継続した事業として予算措置を行う予定で、学校長の裁量に任せたいと思っている。

教育部長 10校の学校がそれぞれ特色ある学校、開かれた学校づくりを進める「がんばる先生」が増えてくるような事業としたい。

市長 マニフェストは理念、目的を理解して、よりよい方向にアレンジし、結果としていい学校いい生徒を作ることにつながればいいと思う。



合志南小フェスティバル風景

濱口 人財バンクの取り組みは。総務企画部長 平成23年度から市内市外を問わず特技、技術を持った方を募集し、まちづくりへ関与する仕組みづくりを立案したい。

大丈夫か 市の財政

佐々木博幸 議員



佐々木 国の借金が23年度ついに900兆円といわれている。その中で市の財政は大丈夫か伺う。財政力指数は、合併後確実に良くなっている。基金積立も30億から40億へと伸びている。また市債残高も150億円台に固定、さらに経常収支比率が大変悪化している。なぜか。また対策は。

市長 社会福祉関係の経費が伸びた事とリーマンショックによる世界経済不況で法人税が大幅に落ち込んだ事が原因と思われる。対策として23年度からの財政計画に基づいた行政経営と「稼げる市」を目指し歳入確保に努めたい。

行政評価システムについて

佐々木 職員の事務量の増加と、どれほどの成果が上がっているのか。また今後の取り組みについて。

市長 総合計画と評価システムを連動させ進行管理ができるようになった。今後も厳しい財政運営の中で無駄のない事業実施に取り組みしたい。

市長公用車について

佐々木 市長は選挙で公用車の廃止を提示された。現在の行動は。

総務企画部長 市長専用車は廃止した。会議等への出席は担当課職員が随行している。

佐々木 市長の身体は5万5千人の代表の身体だ。一個人の身体ではない。専用車が必要と思うが。

総務企画部長 一番の懸案は市長のセキリティ。「経費抑制」と「危機管理」を考慮し運転業務の民間委託を検討したい。

職員教育について

佐々木 23年度採用職員の試験が実施され7名の合格が発表された。初任者教育はどのようになっているのか。

市長 市役所内部での研修のほか熊本県市町村職員研修協議会の研修を受講させ接遇や服務等公務員としての基本的事項や実務の習得を行なっている。

